ダイジェスト版

2018 ～ 2022年度

東信州次世代イノベーションプラン

― 産業間融合による付加価値創出 ―

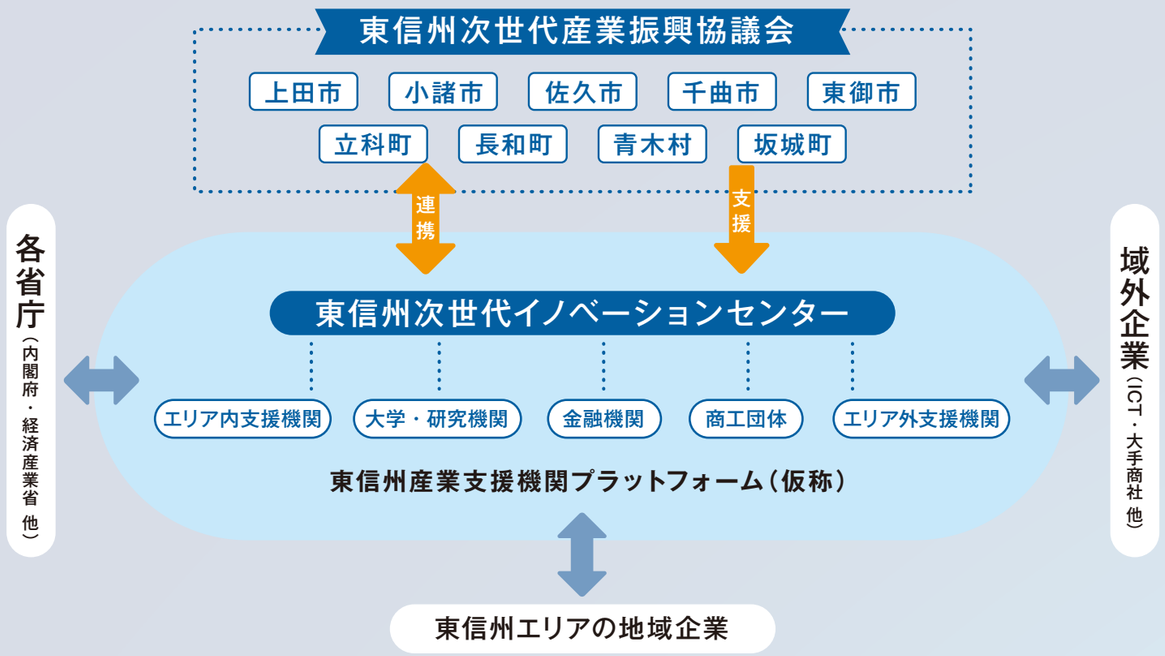


2018年（平成30年）5月

東信州次世代産業振興協議会

東信州次世代イノベーションセンター

東信州次世代産業推進体制



実行計画

	2018年度（平成30年度） 上期	2018年度（平成30年度） 下期	2019～2022年度
東信州次世代イノベーションプランの推進	モビリティ産業 / ウェルネス産業 / アグリビジネス産業（各プロジェクト成果の創出）		
産学連携・研究開発事業	次世代産業創出に向けた「開発プロジェクト」の立上・事業化検証・市場調査 他		
人材確保・育成支援事業	各種情報発信、情報交換会、講演会・セミナー 等		
ネットワーク強化事業	中核企業とのネットワーク構築、地域金融機関との包括連携協定の締結 等		
広域産業情報発信事業	東信州次世代イノベーションプランの周知、報道機関への積極的な情報提供 等		
海外展開支援		エリア内外企業とのビジネスマッチング支援	
その他	エリア内企業の各種研究開発補助金等の申請支援 地域未来投資促進法に基づく事業者の地域経済牽引事業計画支援 等		

基本的な進め方

第１ステージ
中核企業の選定・参画啓発
- 中核候補企業の抽出 / 選定
- プランの周知と参画打診（企業訪問等）
- ビジネスマッチングの場づくり促進　等

第２ステージ
開発プロジェクトの準備
- プロジェクト立上げに向けた事業企画、予算立案、推進体制整備（役割分担含む）
- 知的財産、秘密保持契約対応　等

開発プロジェクト立上げ

第３ステージ
産学官連携による試作開発
- 研究開発の財源確保（補助金・出資等）
- 事業化検証、試作開発、製品事業化、販路開拓支援　等

発行・編集
東信州次世代イノベーションセンター
〒386-8567 長野県上田市常田 3-15-1 信州大学繊維学部 AREC 内　事務局担当：清水、林、滝沢
E-mail：arec15@arecplaza.jp　TEL：0268-21-4377　FAX：0268-21-4382
H　P：http://higashishinshu-ngic.com/

東信州次世代イノベーションプラン

次世代テクノロジー・技術の進化／変化に伴い、近い将来にはビジネス・産業および暮らしが激変することが想定されます。
新たな輝ける未来づくりに向けて、東信州では産学官金等の各機関連携により、地域に集積する技術や特性を活かし、
次世代の産業を創出することを目指します。中長期的な視点から地域産業の目指すべき方向性を示すとともに、
具体的な方策に取り組みます。

プラン策定の狙い

理　念

東信州エリア９市町村（上田市、小諸市、佐久市、千曲市、東御市、坂城町、立科町、長和町、青木村）における、次世代イノベーション産業の創出を推進し、地域産業の発展を図ることを目的とします。

- エリア内産業の多様性を活かし、製造業および農業・医療・観光等の産業間融合を促進
- 基幹産業の製造業の高い技術を核に新たな付加価値を創出

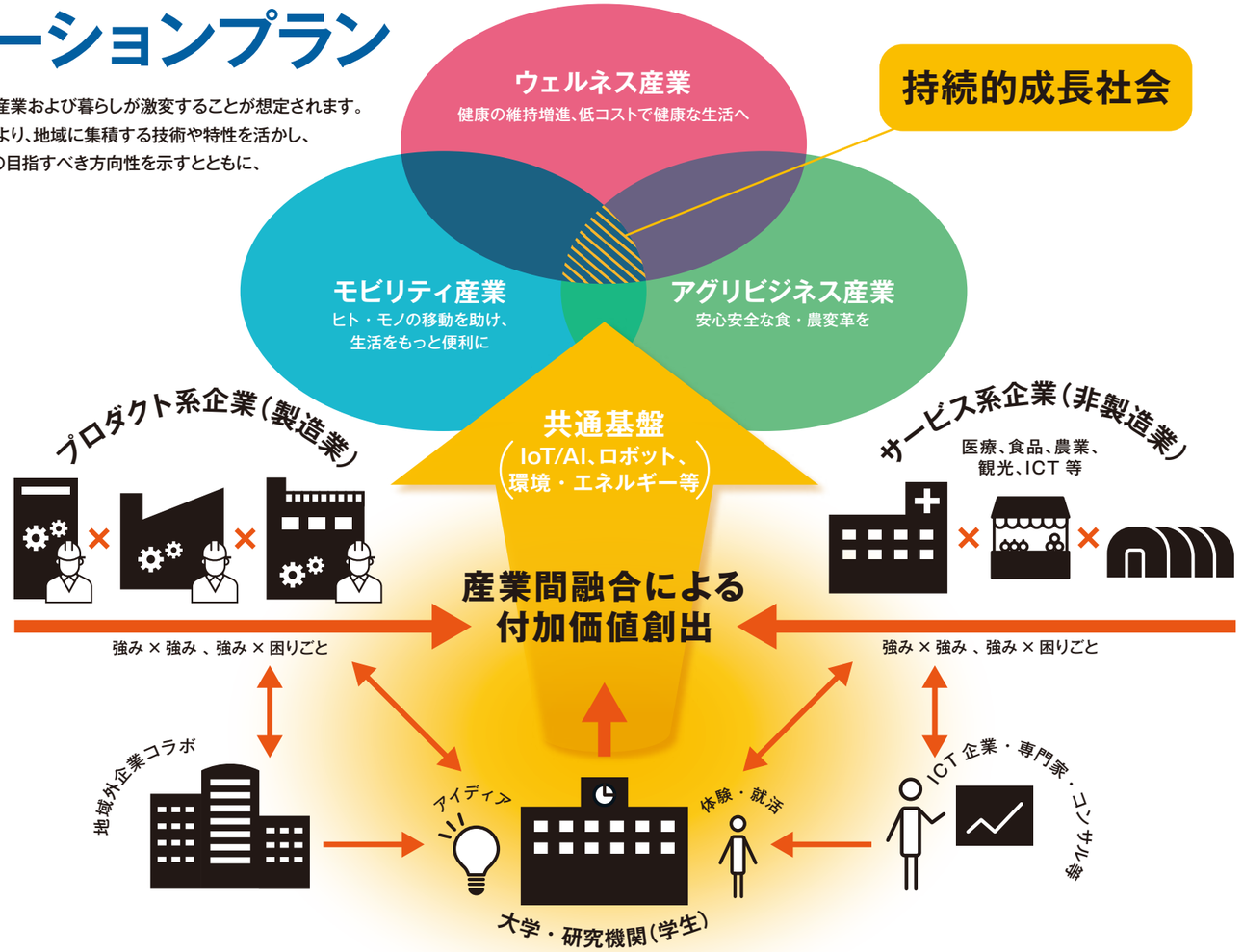
＝ コネクテッド・インダストリー

目　標　（指標：付加価値額）

- 2015 年度 (H27) 実績：4,912 億円【基準】
- 2023 年度 (H35) 想定：5,000 億円【基準比 +2%】
- 2028 年度 (H40) 想定：5,100 億円【基準比 +4%】
- 2033 年度 (H45) 想定：5,200 億円【基準比 +6%】

プランの期間

平成 30 年 5 月～平成 35 年 3 月の 5 か年とし、適宜見直しを実施
（2018～2022 年度）



エリアの共通課題

エリアの経済状況

- 人口減少
  2017 年実績値 418,278 人 → 2040 年推計値 330,794 人
  20.9% 減少
- 東信州エリアにおける製造業の売上高は全産業の 48.1% を占める（2012 年実績）
  【参考】全国 25.7%、長野県 37.1%
  東信州エリアの柱は製造業

	1991 年	2009 年	2015 年
製造品出荷額等	1.69 兆円	1.01 兆円	1.32 兆円
付加価値額	6,712 億円	4,004 億円	4.912 億円

企業ヒアリングにおける共通課題

- 人口減少社会において、人材確保が困難で育成にも限界を感じている（「人材確保」と「自動化」の双方が必要）
- コア技術の確立や下請脱却を目指した取り組みが求められている（「企業力の強化」による付加価値増が必要）

【主なコメント割合】
- 人材の確保・育成（32.1%）
- 事業戦略やビジネス企画の立案・実行（19.5%）
- 協力・連携体制整備（8.3%）他

※270 企業・団体のコメント約 2,000 件を分類

目指す次世代イノベーション産業

基幹産業である製造業を核にし、農業・医療・観光といった異なる産業の融合を推進すると同時に IoT・AI 等の最先端技術を活用し、エリア内企業の持続的な発展を推進していくため、以下の3分野に定め、重点的に支援を行います。

1 次世代モビリティ産業の推進

より一層安心・安全・便利な移動・配送・物流サービスの仕組みづくりが求められています。また、自動車用部品・モーター等の企業集積地であり、当該ノウハウや知見を最大限に活用した産業形成を図ります。

【事業アイディア例】
- 公共交通機関の乗合運行システム（モーター、コイル・電源、移動体通信等）
- ドローン・ＡＩを活用した配送システム（自動化・ロボット機器等）
- 物流・IoT 技術による首都圏から地方への帰り荷の確保支援等

2 次世代ウェルネス産業の推進

製造業や医療の現場で培った固有ノウハウを医療・未病予防・介護・福祉等の各領域へ導入し、新たな産業として発展させていきます。

【事業アイディア例】
- クラウドを活用した医療福祉情報管理システムの研究
- 腰椎作業負荷軽減機器の研究
- 未病予防手法の研究等

3 次世代アグリビジネス産業の推進

豊富な地域資源を有効活用し、製造業で培った省力化の技術・ノウハウと食・農業・観光等を融合したサービスの企画・デザインが期待されています。異業種連携によるイノベーティブな産業として相乗効果を創出します。

【事業アイディア例】
- 長期保存実現に向けた瞬間冷凍・検査機能の研究
- ワインバレー連携による葡萄収穫等の生産性向上の研究
- 地域専用農業機械の研究等

次世代イノベーション産業創出に向けた基本戦略

戦略 ① 次世代人材の確保

海外市場への進出やグローバルスタンダードとしての多様性文化が強く求められる一方で、足元では労働市場が逼迫している現状を踏まえ、若者・女性・シニア・外国人といった多様な人材を確保・活用します。

（1）採用力強化・魅力発信事業
- 必要な人材像の明確化及び自社の魅力の整理・充実
- 効果的な魅力発信の推進（SNS『東信州就活ナビ（仮称）』による情報発信等）

（2）エリア内人材（女性・シニアなど）の確保と UIJ ターン推進事業
- エリア内人材（女性・シニア・留学生等）とのマッチング促進
- 首都圏大学等連携による就職支援（大学キャリアセンター担当者と地域企業とのマッチング会及び学内セミナーなど）
- 合同企業説明会等の就職支援（学生・社会人向け）
- テレワークの側面的支援（エリア内市町村など）
- 学生・社会人向けインターンシップの促進

戦略 ② 次世代人材の育成

次世代産業創出に向けた企業の経営力・技術力を担う人材を育成するとともに、企業ニーズの高い「事業戦略」「ビジネス企画」「技術革新」「営業強化」等の能力向上を図り、生産性向上につながる取組を支援します。

（1）産業支援機関等との連携事業
- エリア内産業支援機関連携による広域型研修（技術：品質管理・生産システム等、経営：人事労務・法務、技術動向等）の推進
- 産業人材を必要に応じてレベルや職種ごとに育成する『東信州テクノカレッジ制度（仮称）』の創設
- 訓練と就労が交互に実施可能なリカレント（学び直し）教育の促進（女性・シニア・非正規労働者等）

（2）大学・専門機関等との連携事業
- 信州大学・長野大学などと連携した課題解決型研究のプログラムや地域人材に対するリカレント（学び直し）教育の促進
- 東京大学ものづくり経営研究センターと連携した統合型ものづくりシステムの一般体系化研究やものづくりインストラクター養成スクールへの参加
- グローバルネットワーク協議会との連携による海外展開における人材育成の推進

戦略 ③ 次世代ビジネスモデルの推進

グローバリゼーションの進展、個人の価値観の多様化に加え、IoT・AI 等による技術革新のスピードが更に加速する中で、エリア内企業の持続的な発展を進めていくために、新たなビジネスモデルの構築を支援します。

（1）モノづくりの上流（研究 / 開発）へ立ち位置を変える研究開発（R&D）機能の強化
- マーケットイン（市場ニーズを汲み取って顧客視点で開発・製造する行動）や生産性向上の考え方に基づき、外部人材を活用した省力化の徹底
- 今まで蓄積した技術をノウハウとして売っていく仕組みづくりとして、研究開発機能を強化

（2）IoT・AI 等の最先端技術の活用
- IoT・AI・ロボットの導入、技術動向及び導入セミナーなどの実施
- 製造現場での活用を促す新たな仕掛けづくり
- IoT 等の導入を促すための IoT 企業の誘致

（3）地域マーケティング力の強化
- 市場調査・顧客ニーズ把握、企業側とのマッチングにより商品デザインや事業企画力を伸ばすことで地域企業のマーケティング力を強化
- 東信州エリア出身者・ゆかりのある大学生・社会人等とのワークショップを企画

（4）地域産業の多様性を活用した異業種連携の推進
- 大学の研究シーズや地域企業のマッチング促進
- ビジネス連携の場となるマッチング促進
- 首都圏企業や地域内企業との連携強化
- 国内外の展示会への積極的な出展及び展示会を通じた連携先の新たな販路開拓
- エリア内外企業等の休眠・開放特許や大学等の知的財産を活用した共同開発と新商品開発の推進

（5）東信州ブランド確立とグローバルビジネスの促進
- 製造業で培った技術のサービス化やストーリー性を意識した付加価値の高いものづくりの推進
- アイデアソン・ハッカソン等を通じた住民との連携促進
- エリア内外の企業間連携による海外展開
- JETRO等との連携、エリア内市町村が提携する海外の姉妹・友好都市交流を通じた企業間マッチング促進